

51. 高知大学医学部附属病院における WHO 手術安全チェックリストの有効性

谷脇実紀¹⁾, 谷めぐみ¹⁾, 田中忍¹⁾, 青野愛里²⁾, 緒方紀美代¹⁾, 井守聰子³⁾, 森川彰大³⁾, 脇彩也香³⁾, 河野崇³⁾, 横山正尚³⁾, 坂本美和⁴⁾

¹⁾高知大学医学部附属病院手術部, ²⁾看護部, ³⁾麻酔科, ⁴⁾医療安全管理部

1. 背景: WHO 手術安全チェックリスト(CL)の導入は、手術の予後(合併症・死亡率)を改善することが多施設試験で示されている(N Engl J Med; 2009)。CLは、手術室での手順とコミュニケーションの両方をチェックすることを特徴とし、CL導入により手術室の安全風土が向上することも報告されている(BMJ Qual Saf; 2011)。一方、わが国では、CLの導入率が低く、その要因の一つとして、わが国での有効性が明らかではない点が挙げられる。

2. 方法: WHO の推奨する手順に従い、2012年9月に高知大学医学部附属病院における全手術症例にCLを導入した。手術室の安全・コミュニケーションは、質問票を用いた安全尺度である Safety Attitudes Questionnaire (SAQ, Anesthesiology; 2006) を用いて評価し、CL導入の有効性の指標とした。SAQは、CL導入直前と導入3ヶ月後において、手術室に従事するスタッフ(外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士)を対象として実施した。SAQの信頼度は Cronbach α 値を求ることにより判定した。また、CL導入前後6ヶ月間のインシデント報告数の変化についても検討した。統計解析は、カイ二乗検定を行い、p<0.05を有意差ありと判定した。

手術安全チェックリスト		
入室時 Sign-in		
<input type="checkbox"/> 患者確認 リストパンフレットにて患者名、血清型確認		
麻酔導入前		
<input type="checkbox"/> 手術部位マーキング: <input checked="" type="checkbox"/> あり / <input type="checkbox"/> なし		
<input type="checkbox"/> 体温		
<input type="checkbox"/> 呼吸、脈搏、みぞ下り下顎頭、軽石、... アレルギー: <input checked="" type="checkbox"/> ある / <input type="checkbox"/> なし 既往歴: <input checked="" type="checkbox"/> ない / <input type="checkbox"/> ある 既往疾患: <input checked="" type="checkbox"/> ない / <input type="checkbox"/> ある		
<input type="checkbox"/> 麻酔剤のオーバーラップと薬剤の確認 <input type="checkbox"/> リモニオオキシメーターの確認		
既往歴/既往疾患/既往手術履歴: <input checked="" type="checkbox"/> ある → 連携・応援の準備 500ml以上点滴のリスク: <input checked="" type="checkbox"/> ある → 2本以上の静脈路		
ICU搬送:		
手術者:		
執刀前 Time-out		
<input type="checkbox"/> 自己紹介 <input type="checkbox"/> 患者名、手術方法(手術・ロボット)、皮膚切開の範囲 <input type="checkbox"/> 手術時間: () 時間 <input type="checkbox"/> 予想される出血量 () ml		
<input type="checkbox"/> 麻酔科医が <input type="checkbox"/> 自己紹介 <input type="checkbox"/> 麻酔方法 <input type="checkbox"/> 患者に有効な問題点		
巡回医チームが <input type="checkbox"/> 巡回医の巡回出し、外回り <input type="checkbox"/> 巡回医は巡回したか <input type="checkbox"/> 巡回時間、遅になること <input type="checkbox"/> 巡回医は技員されたか		
看護者:		
記載者:		
高知大学医学部附属病院		

3. 結果: CL導入後6ヶ月間のCL遵守率は92.6%であった。SAQの回収率は、CL導入前は86.8%(n=177)で、導入後は79.4%(n=162)であった。CL導入前と比較して導入後にSAQのすべての項目でスコアが増加した。総合スコアは、CL導入前(3.39)と比較して導入後(3.57)で有意に増加した。SAQのCronbach α 値は、0.749と十分な信頼性が確認できた。SAQのインシデントの報告数は、導入前が45件であったのに対して導入後では36件であった。

4. 結語: CLの導入により、手術室のチームワーク・安全風土の指標であるSAQスコアが有意に増加した。今回のSAQ增加の程度は、過去に報告された他の国々と同程度であり、わが国においても、CLの導入により手術の予後の改善が期待できる可能性が示唆された。